

The Daily NNA マレーシア版

アジア経済情報紙

http://www.nna.jp/



NNA (MALAYSIA) SDN. BHD.

D-3-5, Megan Avenue 1, No189 Jalan Tun Razak 50400 KL
Tel : 03-2163-6226 Fax : 03-2163-9993 E-mail : sales_my@nna.asia

KDN PP 11802/03/2013 (031453) MCI(P)096/04/2015 転載契約 : Star Publications/Bernama

優秀人材で製造拠点から脱却を 未来のローカル人材を育てよ (1)

日系企業にとって、長く製造業の生産拠点として機能してきたマレーシア。しかし、最近では東南アジア地域の経済成長を背景に、パナソニックがアジア・太平洋地域のマーケティング・商品開発などを行う統括会社をマレーシアに設立するなど、単なる製造拠点を越えた役割を期待する動きが出始めている。そこで求められるのは、商品開発・マーケティング、ITなど高度な業務を担う優秀な人材だ。計5回にわたって、マレーシアでの高度技能人材の確保と育成に向けた日系企業の現状や課題に迫る。【降旗愛子】

4月上旬、マレーシア工科大学(UTM)のマレーシア日本国際工科院(MJ I I T)は、クアラルンプール(KL)で日系企業の紹介・案内を中心とした就職フェアを開催した。日系・地場合わせて29社が出展し、学生300人が参加した。

企業ブースを出展していた日系重電大手の担当者は、既にマレーシア国内の大学5校で就職フェアに参加しており、KLでは3校日だと話した。同社では従業員のうちエンジニアが7割を占める。エンジニアはマレー系が多く、財務や資材は華人系が多いという特徴はあるが、基本的にどの民族でも分け隔てなく採用している。

マレーシアの学生は、華人系を中心に語学力では日本人学生よりも優位だが、担当者は「どんなに優秀な学生でも、現場のエンジニアとしては未熟」と話し、優秀さよりもやる気のある人材を採用したいと意気込んだ。同社では、入社後に海外法人も含めたグループ全体での階層別研修を行っており、世界基準を目指す人材育成を行っているという。

一方、今回がKLでの初めての採用活動だと話す日系重工業大手は、グローバルに採用を行っているものの、マレーシアには製造拠点がないため、「基本的には全て日本本社での採用となる」と話した。そのため、日本語

(次ページへ続く)

NEWS HEADLINES

- 【労働】 優秀人材で製造拠点から脱却を 1
- 【食品】 キューピー、日本でマ製ハラルマヨネーズ販売 3
- 【経済】 RM=33.7円、\$=3.66RM (29日) 3
- 【運輸】 MAS、事業を分社化して業績目標設定へ 4
- 【車両】 DRBハイコム、通期決算は35%減益 4
- 【車両】 独ポルシェ、スンガイベシに3Sセンター開設 5
- 【車両】 電気自動車のカーシェアリング開始、首都圏初 5
- 【製造】 サムスン、アフターサービス拠点を拡充 5
- 【製造】 THヘビー、バイオ燃料設備市場に参入へ 6
- 【運輸】 エアアジア1Q、コスト減とタイ好調で黒字転換 6
- 【運輸】 プリティッシュ・エア、14年ぶりにKL就航 6
- 【運輸】 AES導入で交通事故減少の成果強調=運輸相 7
- 【運輸】 韓国政府、高速鉄道受注で技術移管の用意も 7
- 【医薬】 ス州プタリン地区、漢方薬局での薬酒販売が禁止 7
- 【医薬】 K P J、在宅高齢者ケア事業の展開を検討 8
- 【医薬】 病院経営IHH、1Qは7.8%増益 8
- 【IT】 インテルのクリーム工場、リストラは600人規模か 8
- 【商業】 (ハラル情報) イスラム女性服飾展示会、商取引の場目指す 9
- 【商業】 OSK、今後5年で商業施設5カ所を開業へ 9
- 【経済】 UMWが多角化推進、自動車事業依存を改善へ 9
- 【政治】 「力による変更」反対 南シナ海で日米防衛相 10
- 【経済】 生産者物価指数、4月は前年同月比5.9%低下 10

- 【社会】 クダ州の兵役訓練所、臨時の難民避難施設に 10
- 【社会】 ロヒンギャ密航 関係国会合/移住先決まらず終了 11

アジア情報

- 【化学】 リアウ州に製油所建設、オマーン政府が計画 11
- 【経済】 投資環境の改善強調、日本企業600社に 11
- 【公益】 メラルコ、今年の投資額は最大145億ペソ 12
- 【食品】 ペプシ、スナック菓子製造販売を年内に開始 12
- 【運輸】 ソナデジ、公共交通にCNGバス導入 12
- 【観光】 シェラトンホテル、ミャンマーに初進出 12
- 【金融】 三井住友海上にも、特区内営業免許 13
- 【食品】 飲料タタ、15年3月期は純利益48%減 13
- 【経済】 インドの対中輸出、年率14%拡大=HSBC 13
- 【IT】 中国業界団体、今年の台湾パネル調達量示す 13

特集

- 【今週の予定】 15
- 【書籍ランキング】 5月14日~5月20日 15

マーケット情報、その他

- 商品市況 16
- クロスレート 16
- マーケット情報 為替と株式 17
- 各地のコラム 18

をビジネスレベルで話せる人材を求めており、「入社してから日本語を学ぶのでは遅い。日本留学経験者が対象になる」と言う。同社では昨年グループ全体で約220人の新卒を採用したが、海外から採用されたのはわずか7人。そのほとんどが海外の大学に留学していた日本人学生だったという。

海外含む人材育成はまだわずか

NNAが5月中旬にマレーシアに進出する日系企業53社を対象に実施したアンケート調査では、マレーシアでディプロマ（資格専門学校）以上の高等教育を受けたローカル人材の採用活動を行っているという回答したのは約7割の39社。さらにそのうち30社は、「採用活動に難しさを感じている」という。

一方、ローカル社員に対し「教育・研修プログラムを実施している」と回答した企業は、53社中23社だった。21社は「業務上でのオン・ザ・ジョブ・トレーニング(OJT)のみ実施している」と回答した。教育・研修プログラムが「日本人社員と同じ」と回答した企業は3社のみだった。

先の日系重電大手のように、海外法人も含めたグループ全体での従業員研修を行っているという企業は、まだごくわずかのようなのだ。

“リケジョ”は珍しくない

MJ I I Tの小林史典副院長は、「マレーシアの日系企業は製造拠点多く、研究開発(R&D)を行っている企業が少なく」と指摘する。こうした現状では、せっかく企業の明日を担う人材として高等教育を修了した学生が入社しても、将来を悲観し、早期退職につながることもあると危惧する。

小林副院長は「将来、企業のトップになる人材を育てている」と自信を示す。技術経営(MOT)教育や、社会の第一線で活躍するリーダーを招いての公開授業などを通じてリーダー育成に注力し、これまで、マハティール元首相やムスタパ・モハメド貿易産業相、国民車メーカー・プロドゥアの幹部などが同大でトップとしての心構えを説いた。

同大では、成績上位者を日本国内で企業体験(インターンシップ)させており、昨年は15人が参加した。その際、受け入れ先の日本企業から「男子学生なら可能」という申し入れをされることがあるという。日本では、「リケジョ」などと、理系を学ぶ・職に就く女性を珍しが風潮があるが、マレーシアではそのようなことはなく、小林副院長によると、同大の学部課程では女子学生が半分強、大学院生は女子の方が多い。加えて「成績上位者は女子学生」という。これは、MJ I I Tに限らず、国内の主要な大学に共通する傾向だ。

マレーシアでは、結婚・出産を経ても共働きは一般的。しかも、大学での成績上位者は女子が多いのであれば、女性の受け入れをためらう必要はないはずだ。特に、設計・開発のような上流工程であれば、男性に比べて身体的能力が劣る女性でも、活躍する余地は十分ある。

企業の意識改革も必要

MJ I I Tは、ルック・イースト(東方政策)の一環として、日本式の理系教育を取り入れている。こうした環境だけに、同大が学生向けに行ったアンケート調査によると、学部卒業後の進路として就職を考えている学生のうち、日系企業を希望する学生は約9割に上ったという。



MJ I I Tでは、就職希望者の約9割が日系企業志望。各企業ブースは、履歴書を手にした学生でにぎわった(NNA撮影)

学部4年生で、エジプトから留学して電子システムを学んでいるモハンマドさんもその一人。日系自動車メーカーでインターンシップを経験したという彼は、「日本の企業はとても魅力的」と話す。物事が全て時間通りに動き、社内の全てが制度化されているのに感銘を受けたという。モハンマドさんは、今回の就職セミナーで6社に応募した。「難しいかもしれないが、ぜひ日系企業で働いてみたい」と目を輝かせる。

小林副院長は「高度技能人材の活用には、企業の意識改革も必要」と、モハンマドさんのような学生たちの期待に応える企業が多く出てくることを希望している。

日系企業がマレーシアでの採用に難しさを感じる一方、学生側は日系企業に大きな魅力を感じている。なぜそうしたギャップが生まれるのか。次回以降、その背景と理由を探っていく。(続く)



MJ I I Tでは、日本の大学を参考に講座制を取り入れている。小林副院長の講座では、助手から学部生まで11人が共に切磋琢磨する。(NNA撮影)